

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	城東区
学 校 名	東中浜小学校
学校長名	長島 宏

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東中浜小学校では、第6学年 82名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率は70%、算数の平均正答率は63%、今年度実施された理科の平均正答率は60%で、3教科とも全国・大阪府平均を上回った。
無回答率においてもすべての教科で全国、大阪府平均を下回っており、問題に最後まで取り組んでいる傾向がみられる。

児童質問紙調査では、国語・理科については「勉強が好き」「授業がよくわかる」に関して肯定的回答が高いが、算数については上記の質問について全国・大阪府平均より低い傾向にある。また「毎日、朝ごはんを食べている」に関しては肯定的回答が高いが、「自己肯定感」「いじめに対する意識」などには課題が見られる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項とも全国・大阪府の平均正答率を上回った。書くこと、読むことは全国・大阪府の平均正答率を上回ったが、話すこと・聞くことは大阪府平均と同様、全国平均を下回った。

〔算数〕数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用に関する領域とも全国・大阪府の平均正答率を上回った。

〔理科〕エネルギー、粒子、生命、地球に関する領域とも全国・大阪府の平均正答率を上回った。

本校では今年度も授業研究として、ICT機器の効果的な活用を目指している。その中で、今後も児童の確実な基礎的、基本的な学力の定着、最後まであきらめずに問題に取り組む姿勢を育てる授業づくりを進めていく。

質問調査より

児童質問紙の結果については、昨年度と比較すると改善も見られた状況である。

学習面では、「学習意欲」「授業の理解」等に関する項目で肯定的な回答をする児童の割合が低い傾向がみられる一方で、「学習時間」や「ICT機器の活用」等の項目については肯定的な回答をする児童の割合が高い傾向がみられた。

次に、家庭生活の面では「朝ごはん」「家庭での学習時間」等の項目については肯定的な回答をする児童の割合が高い傾向がみられた。

その他「自己肯定感」「将来の目標」「友人関係」「地域貢献」等の項目については、肯定的な回答をする児童の割合が依然低い傾向がみられる。

今後も、授業を中心とした学校生活にまじめに取り組み、学校行事や縦割り活動の取り組みを継続しながら、課題の改善や児童の意識の向上に繋げていきたい。

今後の取組(アクションプラン)

授業については、一人一人の学習理解度をしっかりと把握しながら、基礎学力の確実な定着を図るとともに、一人一台端末やICT機器の効果的な活用を進め、グループ学習やペア学習を取り入れた主体的・対話的で深い学びを積極的に進める。また、複線型授業も積極的に取り入れ、児童が主体的・意欲的に課題に取り組むことを目指す。

友人関係については、いじめの予防教育にも力を注ぐとともに、「心の天気」も活かしながら児童の小さなシグナル・サインを見逃さず、良好な友人関係を築けるよう支援していく。

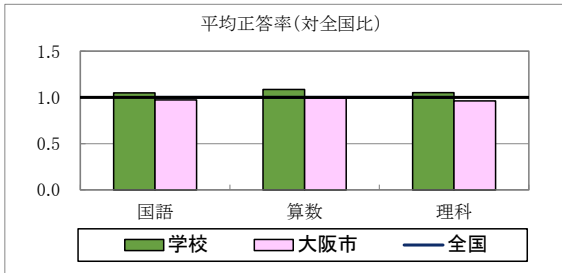
すべての児童が達成感を味わい、自己肯定感を育成していけるよう、教職員が発達段階に応じたサポートをしながら、児童が活躍できる学校行事や児童会活動などを積極的に実施していく。

保護者との連携を大切に、「早寝・早起き・朝ごはん」の規則正しい生活習慣の確立や、スマートフォン・ゲーム機器の使い方など、保護者への啓発活動を進めていく。

【 全体の概要 】

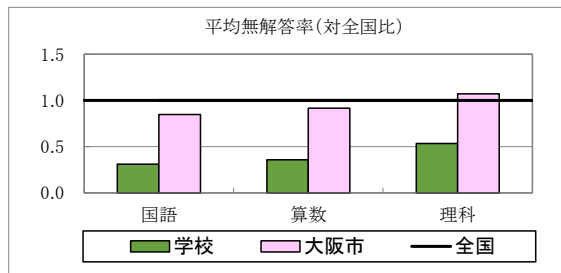
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	70	63	60
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	1.0	1.3	1.5
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



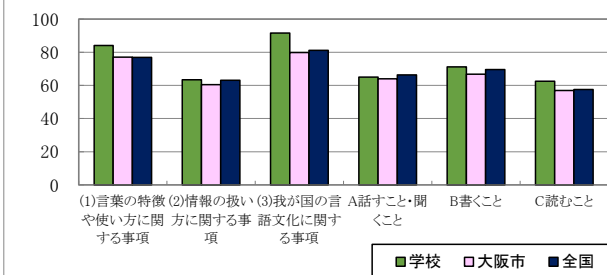
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	84.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	63.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	91.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	65.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	71.1	66.7	69.5
C 読むこと	4	62.5	56.9	57.5

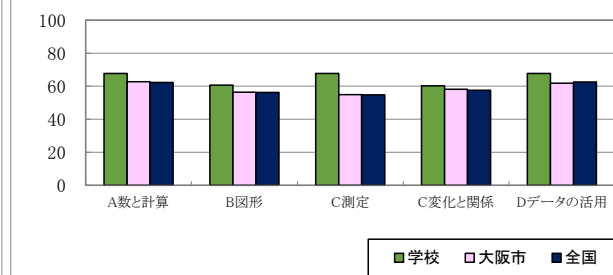
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	67.7	62.7	62.3
B 図形	4	60.7	56.4	56.2
C 測定	2	67.7	54.9	54.8
C 変化と関係	3	60.2	58.2	57.5
D データの活用	5	67.8	61.9	62.6

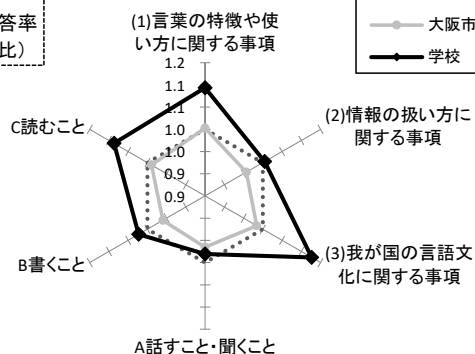
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



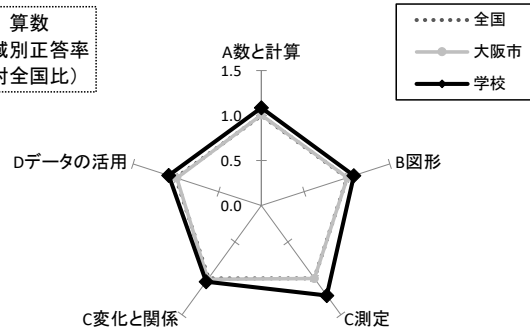
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

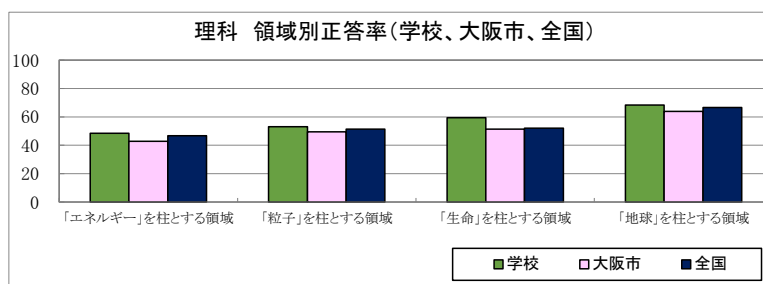


算数
領域別正答率
(対全国比)

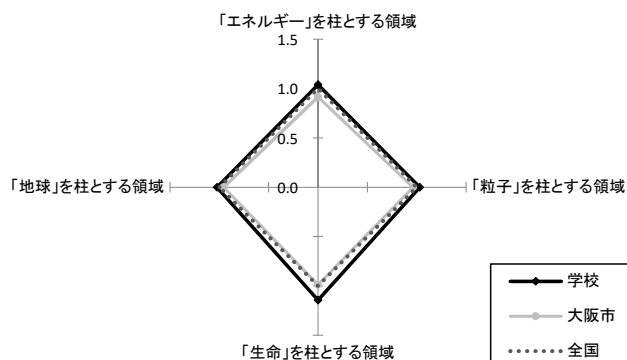


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	48.5	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	53.0	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	59.5	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	68.3	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

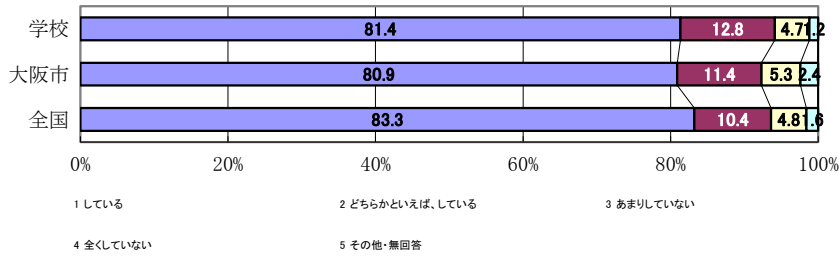
4

5

6

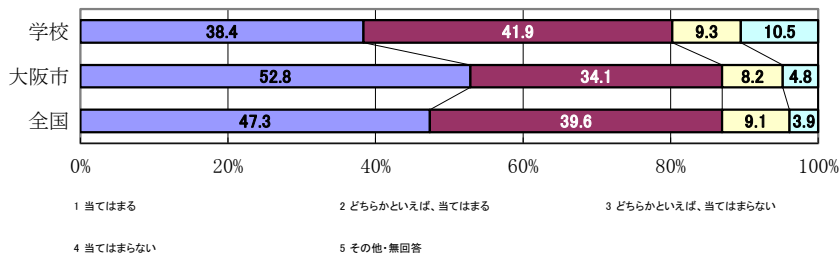
7

8



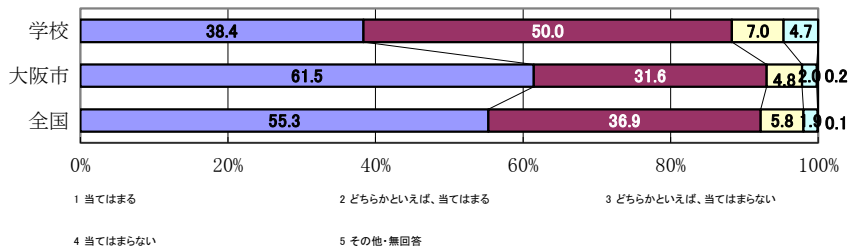
5

自分には、よいところがあると思いますか



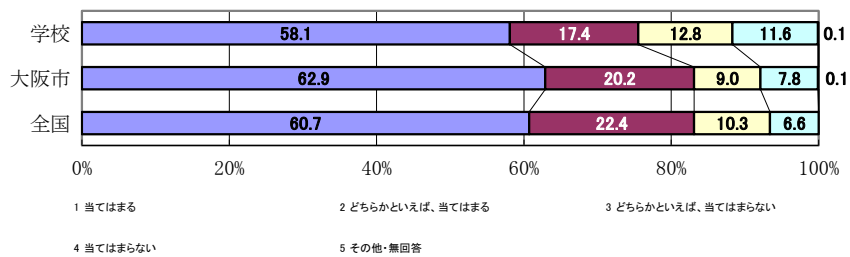
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



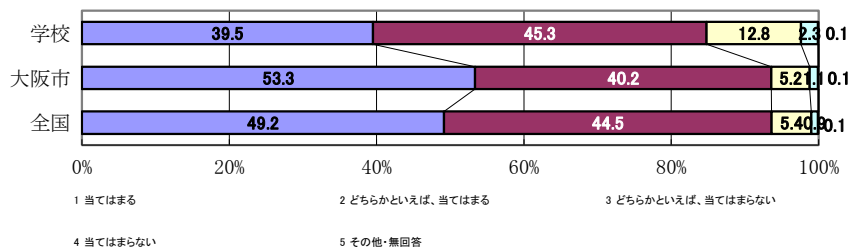
7

将来の夢や目標を持っていますか



8

人が困っているときは、進んで助けていますか



児童質問より

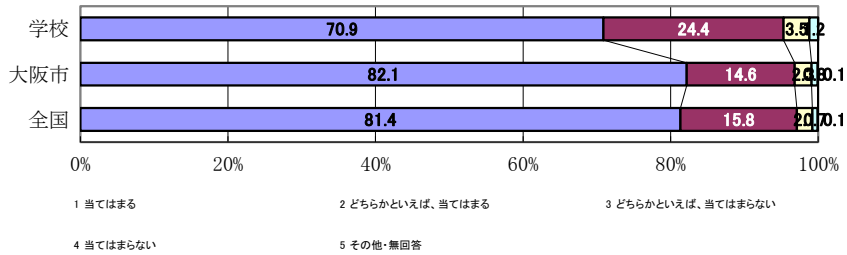
質問番号

質問事項

9

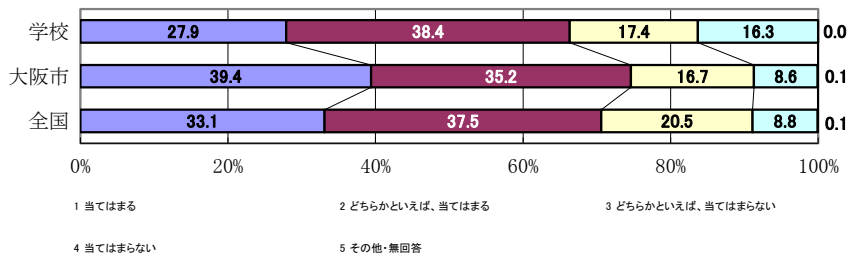
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



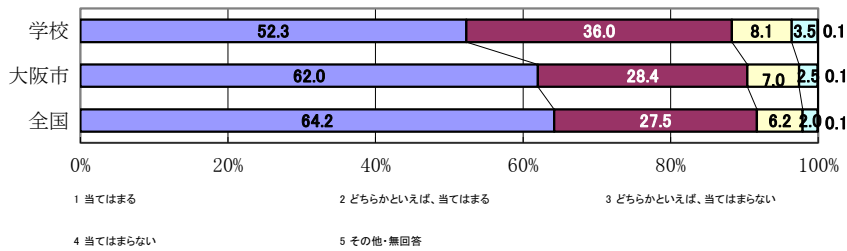
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



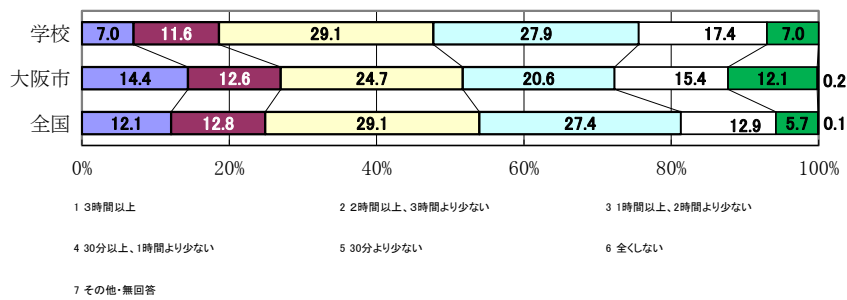
14

友達関係に満足していますか



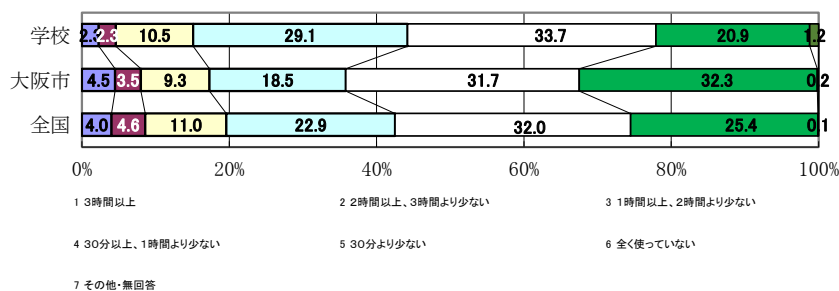
17

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



18

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



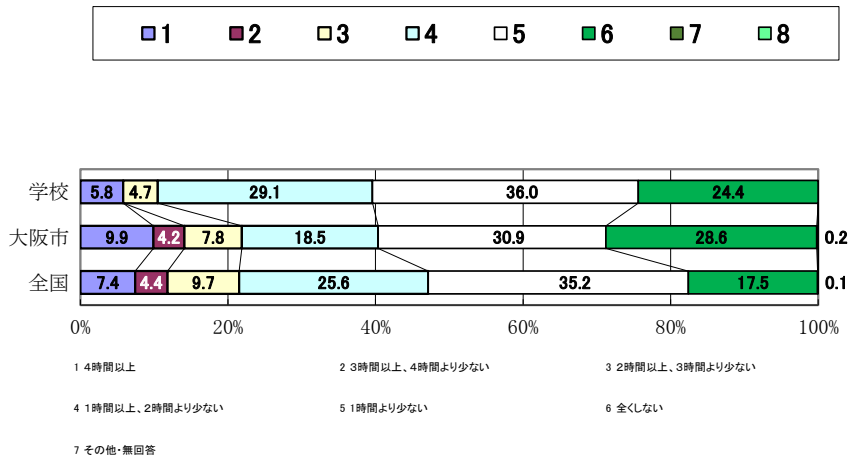
児童質問より

質問番号

質問事項

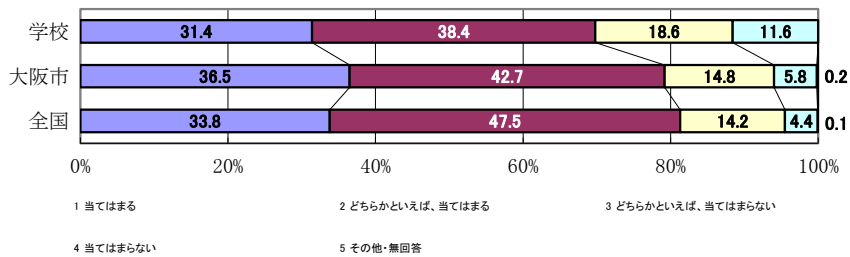
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



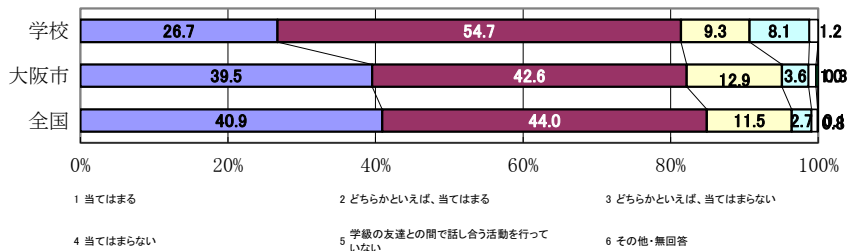
27

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



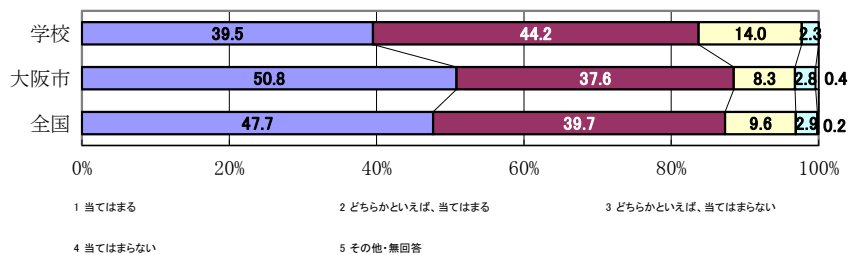
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



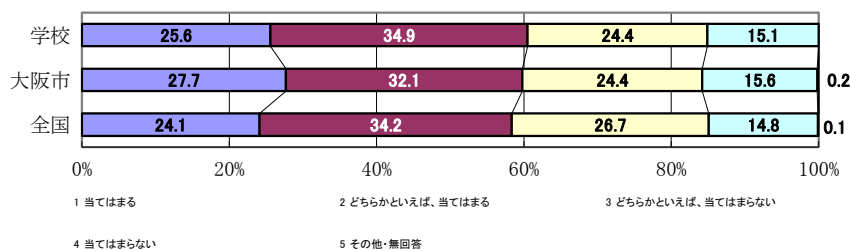
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



45

国語の勉強は好きですか



児童質問より

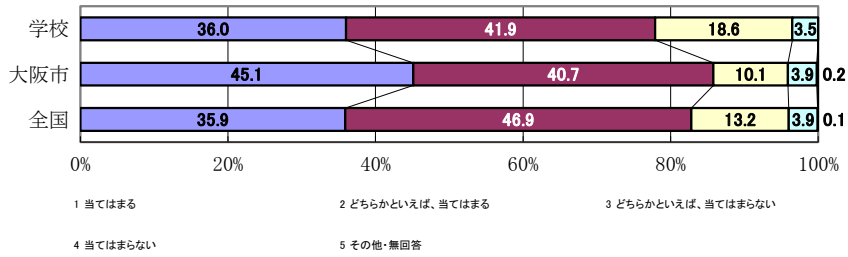
質問番号

質問事項

46

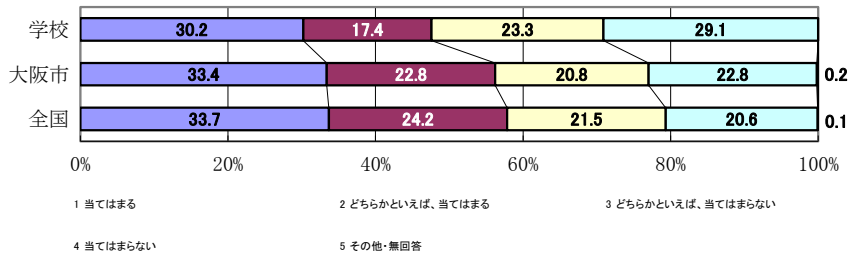
国語の授業の内容はよく分かりますか

1 2 3 4 5 6 7 8



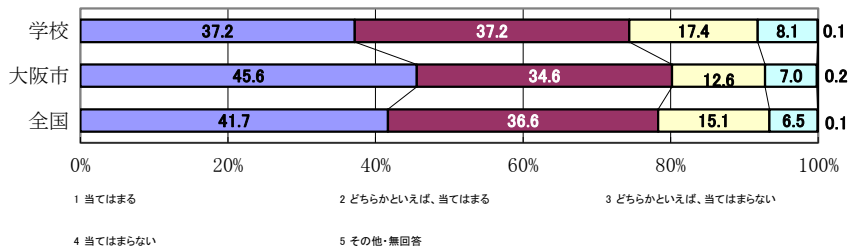
53

算数の勉強は好きですか



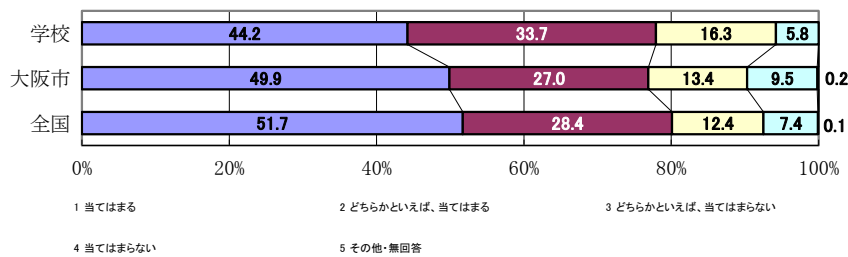
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



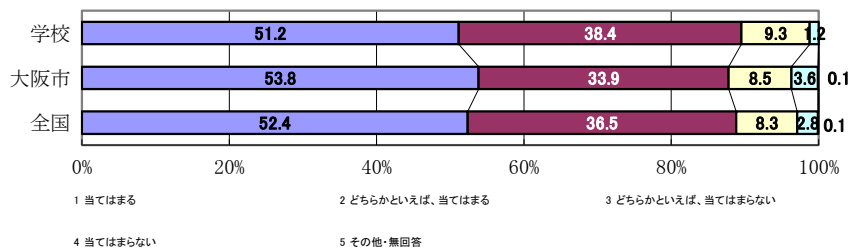
61

理科の勉強は好きですか



62

理科の授業の内容はよく分かりますか



学校質問より

質問番号

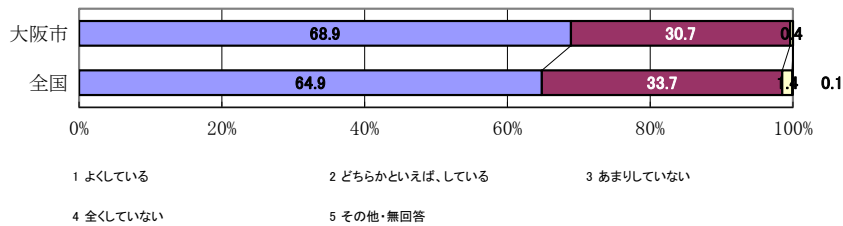
質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

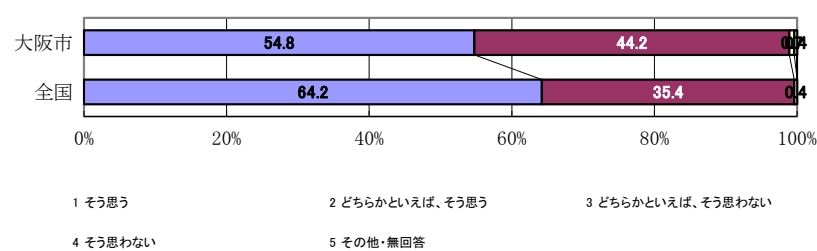
学校 「よくしている」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

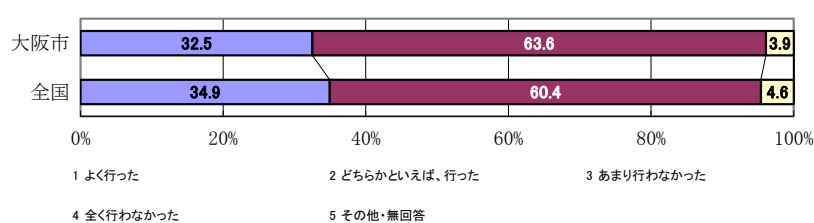
学校 「そう思う」を選択



31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

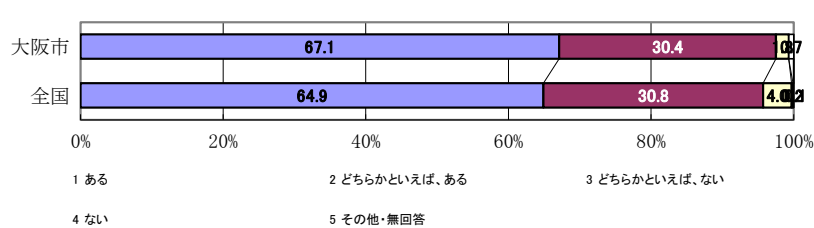
学校 「よく行った」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

学校 「どちらかといえば、ある」を選択



61

教職員と調査対象学年の児童がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

学校 「ほぼ毎日」を選択

